

強い農業づくり総合支援事業の取組事例 (平成28年度:事業実施主体:秋田県畜産試験場) (秋田県)

取組の概要

- 対象品目 : 家畜改良増殖 (肉用鶏)
 成果目標 1 : ロード種鶏の産卵率の向上
 基準 (H27年度) 55.4%
 目標 (R2年度) 58.0%
 成果目標 2 : 比内地鶏100羽当たりの生産コスト
 (飼料費) の削減
 基準 (H27年度) 96,120円/100羽
 目標 (R2年度) 86,608円/100羽
 導入施設等 : 家畜改良増殖関連施設
 (種鶏舎1棟・ふ卵舎1棟)



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

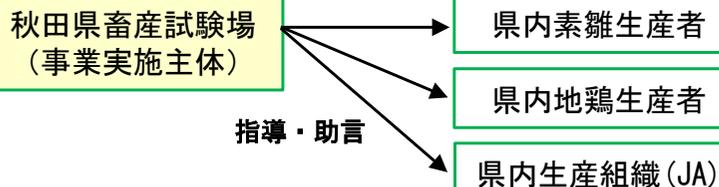
- 秋田県畜産試験場は、比内地鶏生産における種鶏(比内鶏・ロードアイランドレッド)の改良増殖及び供給業務を行っている。
- 配合飼料価格の高止まりなどにより、比内地鶏の生産コストは増加している一方、販売価格の引き上げは難しく、地鶏生産者の所得率は低下傾向にあり、生産者からは種鶏の更なる能力向上が求められている。
- また、季節的に大きく変動する場合があります素雛生産者からの種鶏供給要望に対応するため、安定的な種鶏の供給体制を構築する必要がある。



【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

- ①種鶏舎の増設により飼養環境を改善し、種鶏の増体や産卵性能の向上を図る。
- ②種鶏の改良を進め、比内地鶏の出荷日齢の短縮による生産コストの低減を図る。
- ③飼料用米給与技術の確立及び普及により、生産コストの低減を図る。

推進体制



- ・秋田県比内地鶏ブランド認証制度に基づく比内地鶏生産の徹底に向けた技術指導
- ・飼養規模の拡大に向けた施設整備等への支援
- ・収益性向上に繋がる飼育技術の普及

地域における独自の取組

- ・比内地鶏は、郷土料理きりたんぼでの利用を始めとする本県を代表する特産品
- ・比内地鶏の生産に関わる事業者を認証機関(県)が認証することでブランド力を担保

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①ロードアイランドレッドの産卵率の向上
- ②比内地鶏の生産コストの低減
- ③種鶏供給能力の向上

【事業実施による間接効果】

新技術(飼料用米多給飼育技術等)の生産者への普及



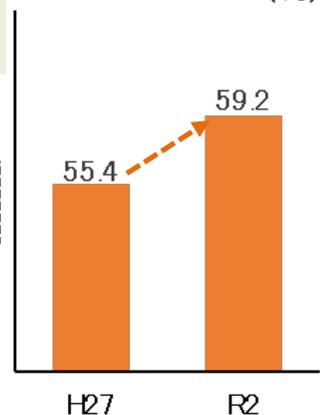
比内地鶏生産者全体の収益性向上



種鶏の産卵率向上
達成率146.2%

生産コスト削減
達成率102.6%

ロード種種鶏の産卵率 (%)



比内地鶏の生産コスト (円/100羽)

